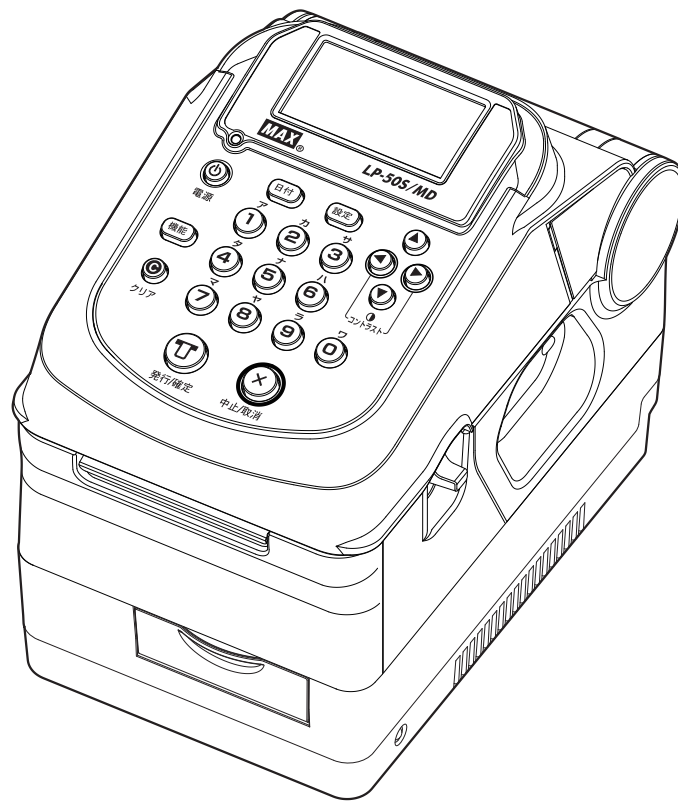


**MAX**®

# LABEL PRINTER **LP-50S/MD**

## 取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

# 目次

1	はじめに	2
2	安全にお使いいただくために	2
3	付属品の確認	4
4	各部の名称	4
5	充電する	5
6	バーコードスキャナをセット接続する	5
7	ラベルのセット方法	6
8	値引き方法を選択してラベルを発行する	7
9	バーコード入りのラベルを発行するときのご注意	8
10	電池残量の確認方法	8
11	リフレッシュ放電スイッチの使用方法	8
12	バッテリーユニットの着脱方法	9
13	ニッケル水素電池のリサイクルについて	9
14	お手入れのしかた	9
15	主なエラー表示と対処方法	10
16	故障かなと思う前に	10
17	各種設定	11
18	本機の仕様	裏表紙
19	本機で使えるラベル紙について	裏表紙
20	お問合せ	裏表紙



## 1 はじめに

この度はラベルプリンタLP-50S/MDをご購入いただき誠にありがとうございます。本機は、どなたにも簡単な操作でスピーディに値引き用ラベルを発行することができます。なお良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。




この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

## 2 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけない事が書いてあります。
 <b>注意</b>	取扱を誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的障害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけない事が書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

### ■ 表示について

	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。
	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。



**お願い** 機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対におこなってはいけないことが書いてあります。

 操作上のポイントおよび知っているると便利なことが書いてあります。



- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。その他記載したソフトウェア名、商品名、製品名は、一般に開発元各社の商標または登録商標です。

### **警告**

**本体について** 火災、故障、感電の原因となりますので、以下の事を必ずお守りください。

	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機は、絶対に分解、改造しないでください。</li><li>●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。</li><li>●水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。</li><li>●雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に充電しないでください。</li><li>●本機を火中に絶対に入れないでください。</li><li>●バッテリーユニットの端子部（金属部）を絶対に短絡（ショート）させないでください。</li><li>●本体は必ず水平に設置してください。</li><li>●落としたり、踏んだり、強い衝撃を与えないでください。</li><li>●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●故障のまま本機を使用しないでください。使用中や保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形、その他今までと異なることに気がついたときは、電源コードをコンセントから抜き、すぐに使用を中止してください。</li></ul>

**電源コード・ACアダプタについて** 火災、故障、感電の原因となりますので、以下の事を必ずお守りください。

	<ul style="list-style-type: none"><li>●傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使用しないでください。</li><li>●100V専用以外のコンセントは、使用しないでください。</li><li>●タコ足配線はしないでください。</li><li>●電源コードやプラグなどを傷つけたり、加工しないでください。また、家具などの重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、絶対にしないでください。</li><li>●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、ゆるみのあるコンセントには差し込まないでください。</li></ul>

## 2 安全にお使いいただくために(つづき)

### 注意

#### 本体について



●パソコンや本体内部に保存した内容は、永久的な保存はできません。万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。



●紙や布などを絶対にかぶせたり置いたりしないでください。  
●印字ユニットには絶対にさわらないでください。発行直後の印字ユニットは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れが印字ユニットの故障の原因となることがあります。



●本機内部にラベル、異物等がはさまるなどで、正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。  
●ドアカバーに手等をはさまないように注意してください。  
●本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体底部を持って運んでください。

#### 電源コード・ACアダプタについて



●連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
●電源プラグは定期的に清掃してください。  
●電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。

#### 設置保管場所について



●大きな容量を必要とする機器(冷暖房、機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントは共用しないでください。



●設置場所を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

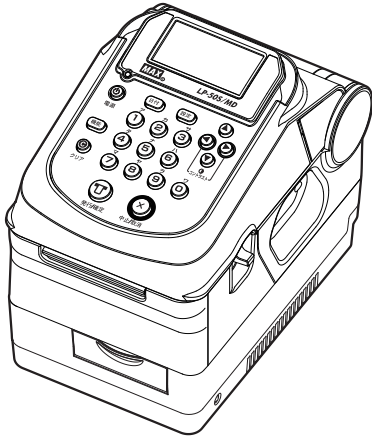
### ■使用上の注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

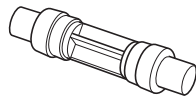
- 電源が入っているときに、ラベルをセットした状態でラベルを強く引っ張らないでください。
- コネクタに直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。
- 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶媒(アルコール、ベンジン、シンナーなど)や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。
- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。
  - ・直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所・ホコリや湿度の多い場所・振動や衝撃の加わる場所で使用しないでください。
  - ・温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
  - ・温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
- LCDディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。
- ラベルにホコリやゴミ等が付着すると、ラベル発行時にスジ状に印字が抜けることがあります。ラベルの保管は梱包の中に入ったビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないようご注意ください。なお、ホコリやゴミが付着した場合は、布などで取り除いてからご使用ください。
- 本機で使用できるラベルは専用感熱紙のみです。ラベルの保管は、直射日光や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管してください。
- アダプタは、必ず付属の専用アダプタを使用してください。

### 3 付属品の確認

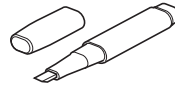
本体



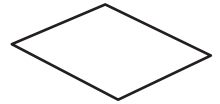
ラベルホルダ



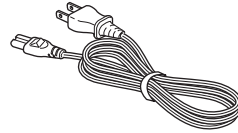
ヘッドクリーナ



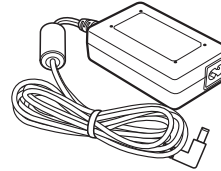
取扱説明書



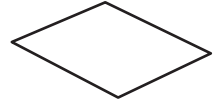
電源コード



ACアダプタ



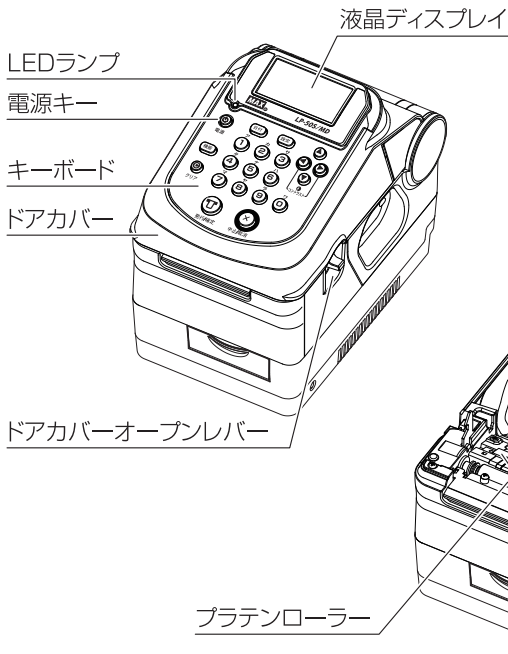
保証書  
兼お客様登録用紙



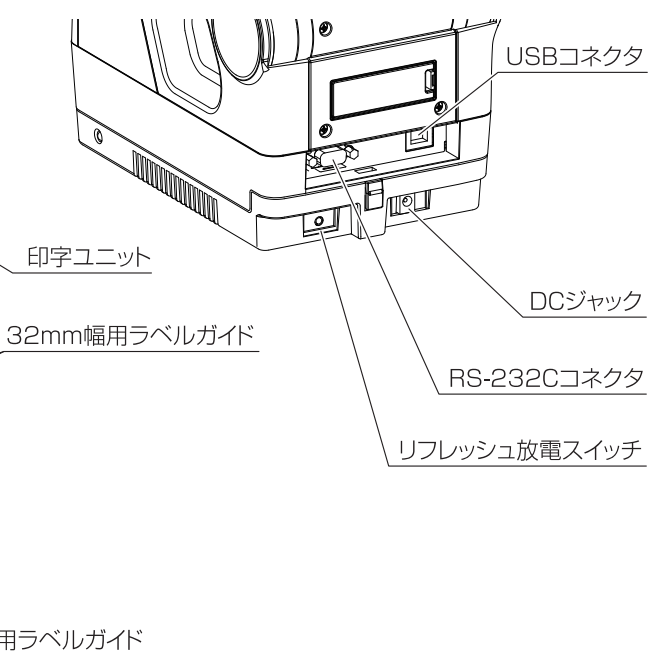
※USBケーブルは市販品をご準備ください(2m以内)

### 4 各部の名称

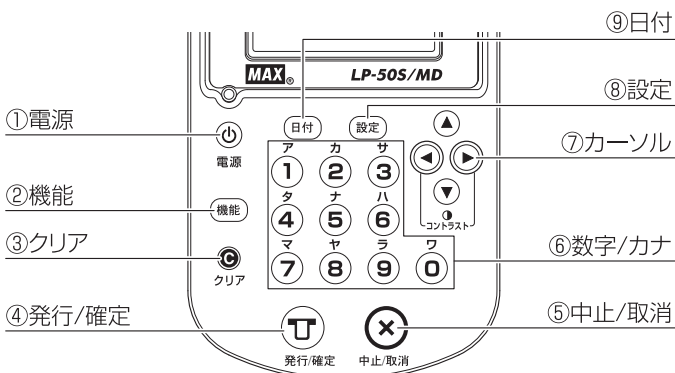
#### ■本体（前側）



#### ■本体（後側）



#### ■キーボード



キー名称	機能
①電源	電源をON/OFFします。
③クリア	入力した数字をクリアします。
④発行/確定	ラベルを発行する時、入力項目を確定する時に押します。
⑤中止/取消	ラベル発行を途中でやめるときや、操作中のモードをキャンセルする時に押します。
⑥数字/カナ	レイアウト番号や発行時の変更項目、発行枚数を入力したりする時に押します。
⑦カーソル	レイアウトの選択や、カーソルの移動、項目の選択の時などに押します。
②機能	LCDのコントラストの変更をおこなう時に押します。
⑧設定	各種設定の変更をおこなう時に押します。
⑨日付	このキーは使用しません。

## 5 充電する

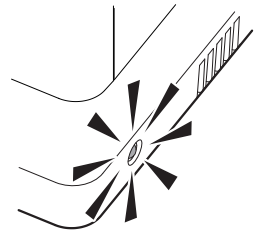
### お願い

- はじめてお使いになる場合には、必ず充電作業をおこなって使用してください。
- 充電作業は本体に装着したままおこなうことができます。

- 1 付属の電源コードをアダプタのソケットに差し込みます。
- 2 アダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 3 アダプタのプラグを本体背面のDCジャック部に差し込みます。

- 4 充電がはじまり、本体右側側面のランプが、「赤」点灯し、充電中をお知らせします。

- 5 充電が完了すると、「緑」点灯して満充電したことをお知らせします。



### メモ

#### LEDの表示について

- 赤点灯：充電中を表します。
- 緑点灯：充電完了を表します。
- 赤点滅：充電待機中を表します。  
リフレッシュ中または、使用環境外の温度の時に点滅します。



※LEDの表示は本体右側面にあります。


#### 充電する周囲の温度

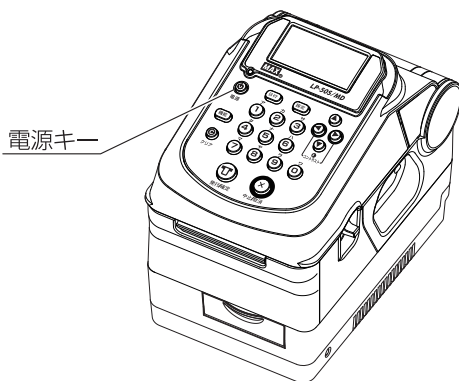
- 周囲温度が10℃～35℃の範囲で充電してください。周囲温度が10℃より低い場合、また35℃を超える場合には、十分な充電または充電する事ができません。
- プリンタ本体の電源がONの状態では、充電する事はできません。充電作業をおこなうには、電源をOFFにしてください。
- バッテリーユニット単体でも充電をする事ができます。

## 6 バーコードスキャナをセット接続する

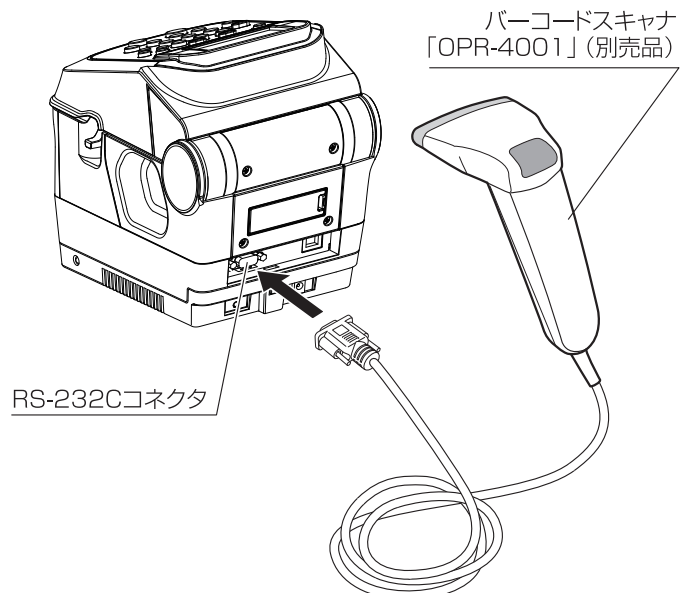
### お願い

- バーコードスキャナは専用のバーコードスキャナ「OPR-4001」（別売品）をご使用ください。

- 1 本体の  キーを押し、電源をOFFにします。  
電源



- 2 本体背面のRS-232Cコネクタに、専用バーコードスキャナを接続し、ビスで固定します。



## 7 ラベルのセット方法

### 32mm幅ラベル (LP-G3260MD1) の場合

① 本体のカバーをあける

② ラベルをホルダに通す

③ 本体の受け台にセットする

④ ガイドの凸部の下にラベルを通す

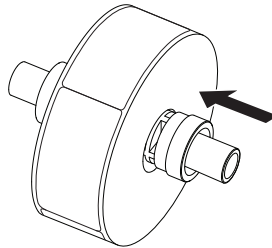
⑤ ラベルの先端を機械の手前まで出す

⑥ 本体カバーを閉じる

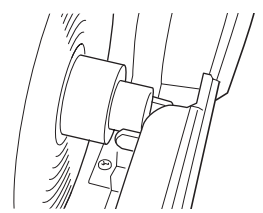
① <カバーの開け方>  
左右の青いドアカバー  
オープンレバーを押して、  
カバーを上上げます。



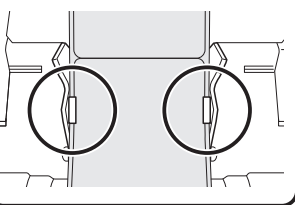
② ラベルホルダを紙管に通します。



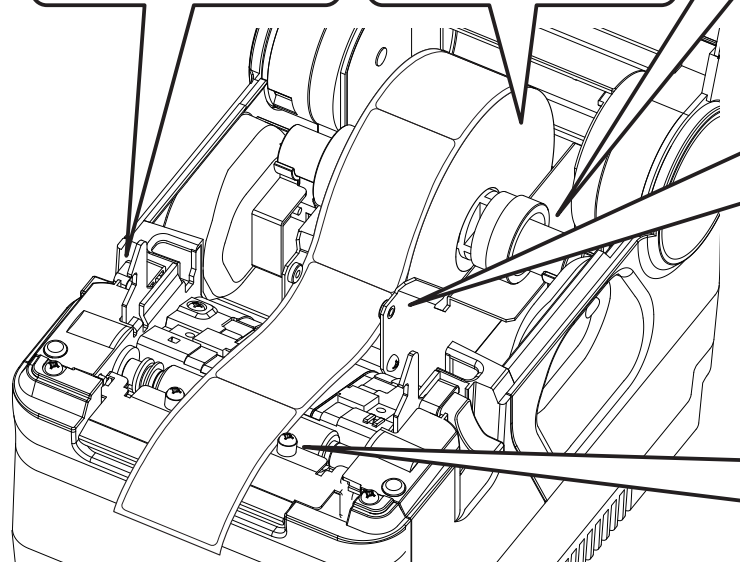
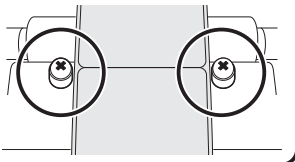
③ 本体の受け台に乗せます。



④ ラベルガイド内側の凸部の下にラベルを通します。



⑤ ピンとピン間にラベルを通します。ラベルの先端を図のように、2~3cm程度、手前に出します。



### 52mm幅ラベル (LP-G5225MD1) の場合

① 本体のカバーをあける

② 32mm幅用ガイドと出口部のピンを+ドライバーで外します

③ ラベルをホルダに通す

④ 本体の受け台にセットする

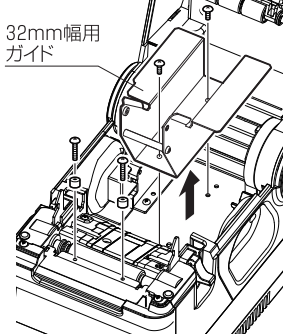
⑤ 青色のガイドをラベル幅に合わせる

⑥ ラベルの先端を機械の手前まで出す

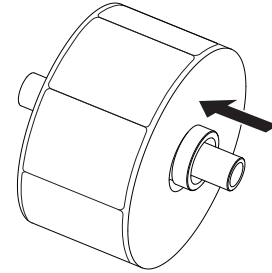
⑦ 本体カバーを閉じる

① <カバーの開け方>  
上記参照

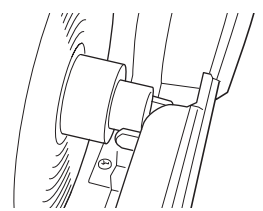
② 32mm幅用ガイドと出口部のピンを+ドライバーで外します。



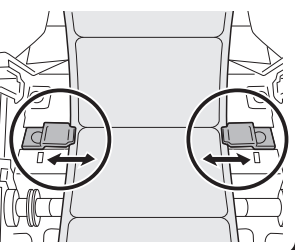
③ ラベルホルダを紙管に通します。



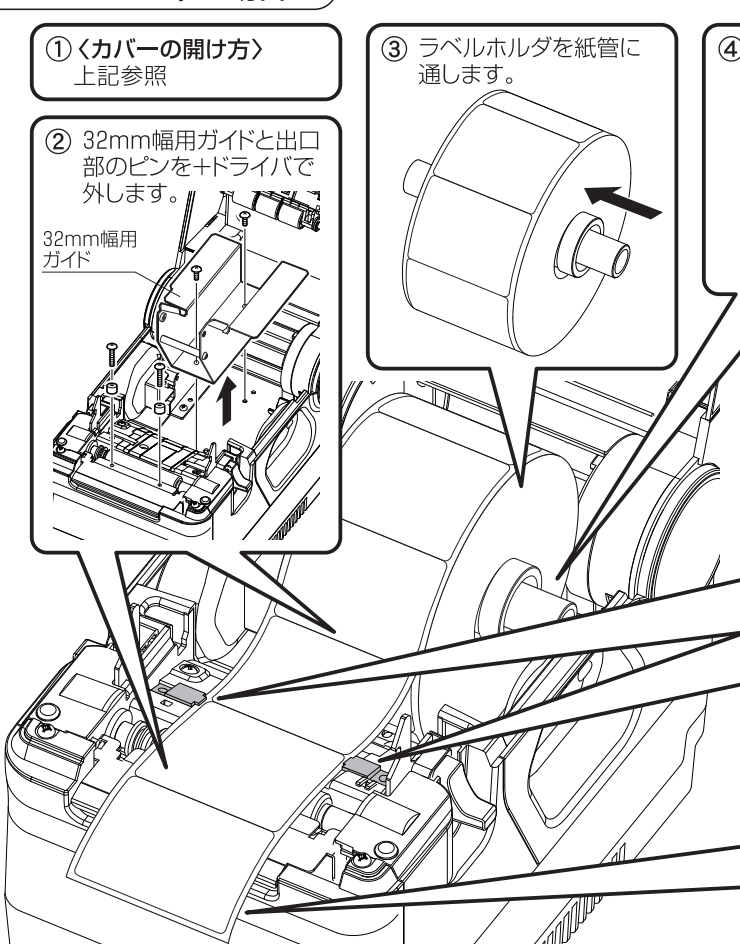
④ 本体の受け台に乗せます。




⑤ ラベルを機械の溝に合わせます。青色のガイドを左右に動かして、ラベル幅に合うように調整します。



⑥ ラベルの先端を図のように、2~3cm程度、手前に出します。



## 8 値引き方法を選択してラベルを発行する

1 本体の  キーを押し、電源をONにします。

電源

2 「値引き方法」を選択し、 キーを押します。

発行/確定

【値引き方法】 %引き 円引き ズバリ価格
--------------------------------

3 値引き率(額)を入力し、 を押します。

発行/確定

(ここでは「20」と入力します。)

[%引き] 20
【値引き入力】

4 値引き対象商品のバーコードをスキャンします。  
「ピッ」と音がして次画面にうつります。

バーコードを スキャンしてくだ さい ▼手入力
----------------------------------

5 元価格を入力し、 を押します。

発行/確定

(ここでは「500」と入力します。)

[元価格] 500
【元価格入力】

6 セット枚数を選択し、 を押します。

発行/確定

【セット枚数】 1枚貼り 2枚貼り
-------------------------

7 発行枚数を入力し、 を押します。

発行/確定

枚数： 5
【発行】

8 指定枚数分のラベルが発行されます。

発行しています

1 / 5枚

9 発行が終了すると、値引き方法選択画面に戻ります。

【値引き方法】 %引き 円引き ズバリ価格
--------------------------------

### メモ

設定により次の項目は省略することができます。

- ・値引き方法選択
- ・値引き入力
- ・元価格入力
- ・セット枚数
- ・発行枚数



## 9 バーコード入りのラベルを発行する時のご注意

本機でJANコードなどのバーコードを含むラベルを発行する場合は、印字抜けにご注意ください。

### お願い

1日の作業開始前に、必ず以下の手順で印字抜けの状態を確認してください。

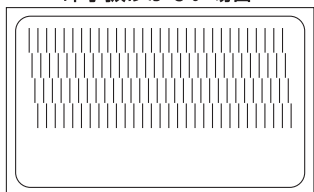
#### 1 「設定」—「印字」の「テスト発行」を表示し、「する」

を選択して  キーを押します。

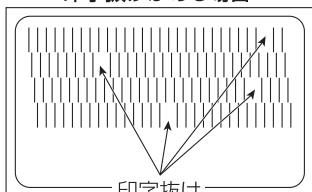
発行/確定

印字抜けチェックパターンが印字されます。

印字抜けがない場合



印字抜けがある場合



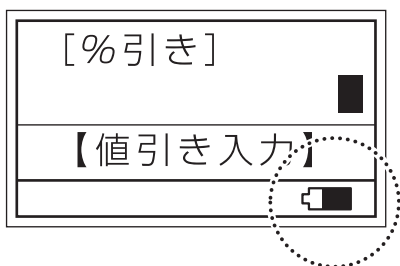
#### 2 キーを押すと、値引き方法選択画面（または中止/取消 値引き入力画面）に戻ります。

### お願い

印字抜けが確認された場合は、ラベル発行を止め、印字ユニットやローラーをクリーニングしてください。再度、「印字抜けチェック」をおこない改善しない場合は、印字ユニットを交換してください。印字ユニットの交換はご購入販売店までご依頼ください。バーコード印字不良による損害、ならびに逸失利益については、弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。




## 10 電池残量の確認方法

電池の残量は、プリンタ本体のディスプレイに3段階で表示されます。（電池の残量は、目安です）



### メモ

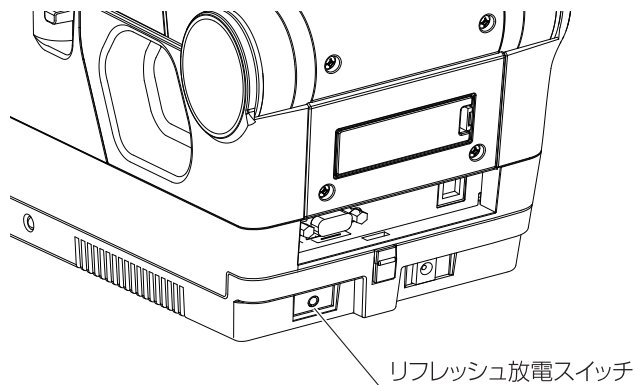
#### 【目盛の表示】

-  : 十分残っています (約90%以上)
-  : 少なくなっています (約25~90%)
-  : ほとんど残っていません (約25%以下)  
充電する事をおすすめします

- プリンタ本体の電源が入っている状態で電池が切れた場合、ディスプレイに「電池の残量がなくなりました」とメッセージが表示されます。充電作業を行なって下さい。
- バッテリーユニットは、約500回充電を繰り返して使用できます。  
(当社試験:温度25℃、満充電状態⇄空状態の連続の繰り返し試験による) 継ぎ足し充電を繰り返すと500回充電できない場合があります。また、500回を過ぎると充電が十分にできなくなり、充電したのにすぐ残量が無くなったりします。その時は、新しいバッテリーユニットをお買い求め下さい。
- 電池の残量が表示されない画面があります。(値引き方法選択、バーコードスキャン、設定メニューなど)

## 11 リフレッシュ放電スイッチの使用法

充電開始時に本機背面のリフレッシュ放電スイッチを押す事で電池のメモリー効果を防ぐ事ができます。リフレッシュ中は、充電表示が赤点滅で表示します。

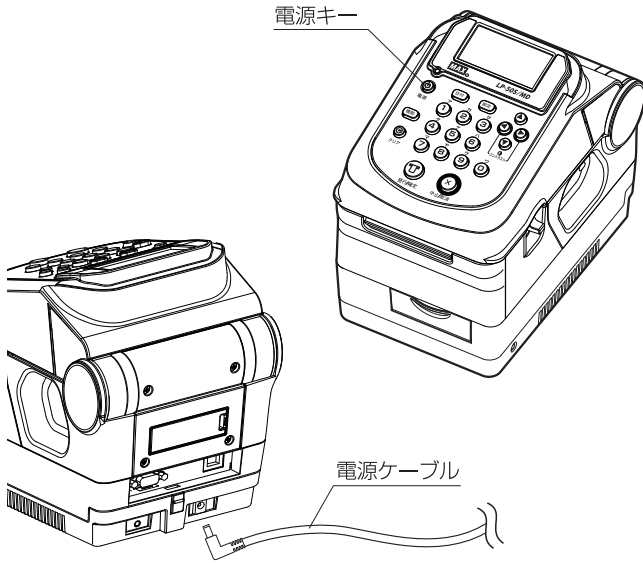


### メモ

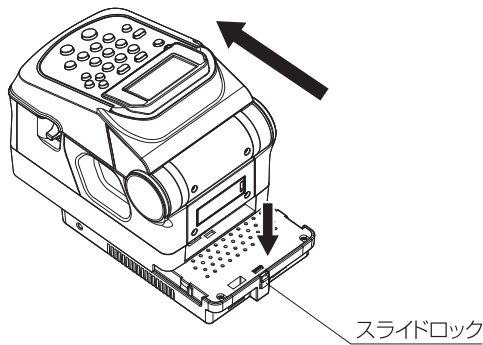
- 満充電したのに、1巻(40m巻のラベル)使い切らないうちに電池が無くなってしまふ場合に、使用すると効果的です。
- リフレッシュ放電スイッチを押しての充電時間は、その時の電池残量によって変わります。通常は8時間程度。満充電に近い状態からでは、18時間程度かかります。
- **メモリー効果の件**  
電気がまだ残っている状態で継ぎ足し充電を繰り返し行なうと、その充電レベルを記憶してしまう現象のことがあります。そのため実質上使用できる容量が少なくなります。

## 12 バッテリーユニットの着脱方法

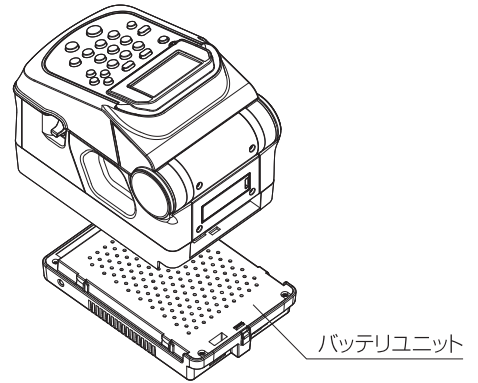
1 プリント本体手前の電源キーをOFFにし、電源ケーブルを外します。



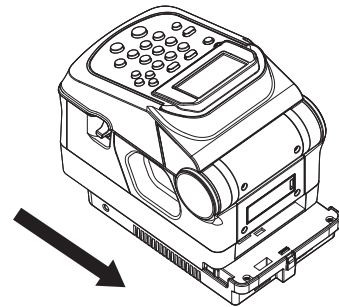
2 背面のスライドロックを押し下げながら、本体を前にずらします。



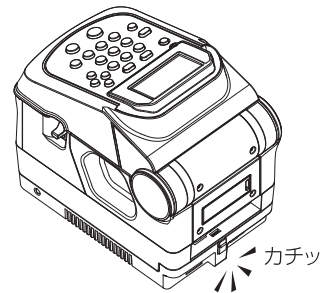
3 本体を持ち上げてバッテリーユニットを取り外します。



4 バッテリーユニットの溝にあわせて本体を載せてスライドします。



5 カチッと音がして 배터리が固定された事を確認します。



## 13 ニッケル水素電池のリサイクルについて



本機は、ニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きたバッテリーユニットは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックス事業所、マックスサービスファクトリー（株）へお持ち下さい。環境保全の資源のリサイクルにご協力をお願い致します。

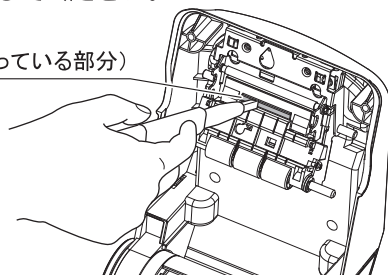
## 14 お手入れのしかた

※クリーニングの作業は電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてから作業して下さい。

### ■プリントヘッドのお手入れ

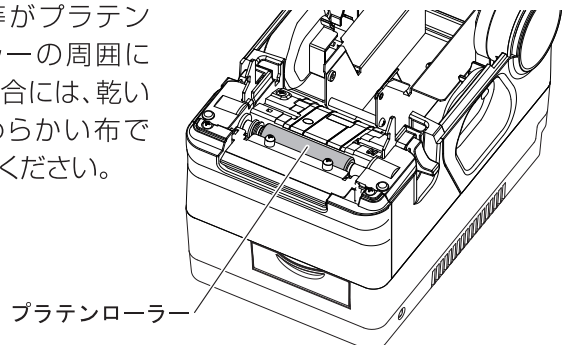
印字がかすれてきたときなど、付属のヘッドクリーナで、プリントヘッドを清掃してください。

プリントヘッド（黒く光っている部分）



### ■プラテンローラーのお手入れ

水を含ませて固く絞った布で軽く拭きます。紙粉等がプラテンローラーの周囲にある場合には、乾いたやわらかい布でふいてください。



## 15 主なエラー表示と対処方法

エラーメッセージ	原因	対処方法
【116】 専用のスキャナを接続してください	専用のスキャナが接続されていません または、専用のスキャナとして認識できません	専用スキャナ「OPR-4001」を使用してください
【121】 指定のファイルがありません	バーコード設定に合致したレイアウトが登録されていません	レイアウトを再登録する必要があります 管理者の方にご相談ください
【132】 スキャナ接続が正しくありません	専用のスキャナが接続されていません または、専用のスキャナとして認識できません	専用スキャナ「OPR-4001」を使用してください
【133】 バーコードが正しくありません	無効なバーコードの読み取りをおこなっています	正しいバーコードの読み取りをおこなってください
【150】 チェックデジットが不正です	バーコードから読み取りした、または手入力した チェックデジットが正しくありません	正しいバーコードを読み取るか、手入力してください
【151】 JANフラグが不正です	JAN2段フラグ設定と違うバーコードの読み取り をおこなっています	設定を確認し、正しいバーコードの読み取りを おこなってください
【160】 値引額が多すぎます	値引額と元価格、スバリ価格と元価格の相関が 取れていません	正しい価格を入力してください
【161】 値引率が多すぎます	入力した値引率が値引率の上限設定値を超え ています	値引率の上限設定値を超えない範囲で値引き率 を入力してください
【301】 用紙がなくなりました 交換してください	ラベル紙がセットされていません または、用紙切れとなりました	新しいラベルを本体にセットしてください
【302】 ドアカバーを閉めてください	ドアカバーが閉じていません	しっかりとドアカバーを閉じてください
【303】 ラベル間検出エラー	ラベル紙が正しくセットされていません	ラベル紙を正しくセットしてください
【403】 電池の残量がありません	バッテリーの容量が不足しています	充電作業をおこなってください。充電作業をおこ なっても、すぐこのメッセージが表示される場合 には、新しいバッテリーユニットに交換してください
【404】 ヘッドが所定の温度より低温または 高温になっています	電源ON時や発行時に、ヘッド温度が使用範囲外 となっています	低温環境では機械が温まってから、暑いところ では涼しいところに機械をしばらく放置してから再 度電源をONにしてください
【500】 印刷範囲でヘッド素子が壊れています	発行時に、印刷範囲のヘッド素子が破損してしま いました	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理) その まま印字する場合は、発行操作を中止して、ヘッド 自己診断設定を「しない」に設定し、再度発行して ください(印字抜けが発生する可能性があります)
【501】 プリンタヘッドの素子が壊れています	電源ON時に、ヘッド素子の破損が見つかりました	ヘッドユニットの交換をしてください(修理)

## 16 故障かなと思う前に

現象	確認してください	対処方法
電源が入らない	バッテリーユニットが正しく装着されていますか	バッテリーユニットをしっかりと本体に差込み、ロックされ ている事を確認してください
	電池切れになっていませんか	充電作業をおこなってください
	本体上面のLEDランプが点灯していますか	点灯している場合、LCDの輝度が薄くなっている 場合があります (機能) + ◀ ▶ キーで LCD コントラストを調整してください
充電ができない (充電表示LEDがつかない場合)	ACアダプタのコネクタが本機にしっかりと接続 されていますか	ACアダプタのコネクタを本機にしっかりと接続して ください
	アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと 差し込まれていますか	アダプタの電源プラグをコンセントにしっかりと差し 込んでください
	プリンタ本体の電源が入っていませんか	プリンタの本体の電源を切って充電してください
充電ができない (充電表示LEDが赤点滅する場合)	リフレッシュ放電スイッチを押しましたか	リフレッシュ放電が終了後、充電を開始します しばらくおまちください
	寒い所あるいは暑い場所で使っていませんか	温度が10℃から35℃の環境でお使いください
動作しない (パソコンから発行する場合)	専用ラベル紙をお使いですか	専用ラベル紙をセットしてください 本機は専用ラベル紙のみお使いいただけます 市販のラベルはお使いいただけません
	USBケーブルが正しく接続されていますか	USBケーブルの接続を確認してください。USBケー ブルは、長さ2m以内のものをお使いください
きれいに印字されない	ラベル表面にホコリ・ゴミ等が付着していませんか	本体内部にゴミ・ホコリ等がある場合は除去してから ラベルをセットしてください
	印字ユニット部のプリントヘッドまたは、 プラテンローラーが汚れていませんか	プリントヘッドは付属のヘッドクリーナで、プラテンロー ラーは水を含ませて固く絞った布で軽く拭いてください
印字位置がずれる	正しくラベルがセットされていますか	再度、ラベル紙をセットしなおしてください
	印刷位置がずれていますか	「設定」→「位置」で印字位置調整をおこなってください

## 17 各種設定

本機で設定できる各種設定は、次のとおりです。「値引き方法選択」画面、または「値引き入力」画面で「設定」キーを押すと、設定画面に切り替わります。

### 17-1 値引

#### 1 値引方法

値引方法 固定 発行時変更
【値引き 1】

**固 定：**

「%引き」「円引き」「ズバリ価格」の値引き方法を発行時に固定する事ができます。

**発行時変更：**

発行時に「%引き」「円引き」「ズバリ価格」の値引き方法を選択します。

#### 2 枚数表示

枚数表示 する しない
【値引き 2】

**す る：**

発行時に枚数表示をおこないません。  
「する」にカーソルを合わせて、「確定」キーを押して枚数初期値を1~9の範囲で設定します。

**しない：**

発行時に枚数表示をおこないません。  
この場合は、常に1枚で発行されます。

#### 3 値引制限

値引制限 値引率 しない
【値引き 3】

**値引率：**

値引率で値引制限をおこないません。「値引率」キーを押して1~99%の範囲で設定します。

**しない：**

値引制限をおこないません。

#### 4 半額表示

半額表示 する しない
【値引き 4】

**す る：**

「%引き」の値引き方法で、「50%」の場合、「半額」と表示します。

**しない：**

「半額」表示をおこないません。

#### 5 端数処理

端数処理：切捨て 切上げ 四捨五入
【値引き 5】

値引き計算結果の端数処理の方法を、「切捨て」「切上げ」「四捨五入」の3つから選択します。

#### 6 元価格の印刷

元価格の印刷 する しない
【値引き 6】

**す る：**

元価格の印刷をおこないません。ソースマーキングのバーコードを入力した場合には、元価格を入力する画面が表示されます。インスタマーキングの場合には、バーコード設定に基づいて元価格を印刷します。

**しない：**

元価格の印刷をおこないません。

#### 7 後価格の印刷

後価格の印刷 する しない
【値引き 7】

**す る：**

後価格の印刷をおこないません。ソースマーキングのバーコードを入力した場合には、元価格を入力する画面が表示されます。インスタマーキングの場合には、バーコード設定に基づいて後価格を印刷します。

**しない：**

値引き後価格の印刷をおこないません。

#### 8 社員Noチェック

社員Noチェック する しない
【値引き 8】

**す る：**

ラベル発行時に社員No入力画面が表示され、社員Noを入力します。(最大8桁)  
「する」に合わせてカーソルキーを選択した場合には、社員No印字を「する」か「しない」かを選択します。

**しない：**

社員No入力画面は表示されず、社員Noチェックをおこないません。

# 17 各種設定(つづき)

## 17-2 バーコード

### 1 出力 バーコード

出力バーコード JAN CODE128
【バーコード1】

JAN :

JAN2段仕様の値引きラベルを発行します。

CODE128 :

CODE128仕様(20桁)の値引きラベルを発行します。

### 2 JAN 2段フラグ

JAN2段フラグ 上段 : 20 下段 : 22
【バーコード2】

上 段 :

JAN2段仕様の場合の「上段」、の先頭2桁のフラグを設定します。

下 段 :

JAN2段仕様の場合の「下段」、の先頭2桁のフラグを設定します。

### 3 JAN 値引フラグ設定

JAN値引フラグ設定 する            しない
【バーコード3】

す る :

JAN2段仕様の場合の値引フラグの設定をおこないます。

例) %引き : 1    円引き : 2    ズバリ : 3

し ない :

JAN2段仕様の場合の自由枠の設定をおこないません。  
この場合、バーコードには値下後価格情報を印字します。

### 4 JAN ガードバー

JANガードバー あり   なし   依存
【バーコード4】

あ り :

JANガードバーを付けて、バーコード印字をおこないます。

な し :

JANガードバーを付けずに、バーコード印字をおこないます。

依 存 :

別売ソフト「楽らくラベルPro」の設定に依存して、バーコード印字をおこないます。

### 5 CODE128 値引フラグ

CODE128値引フラグ %引き            1
【バーコード5】

CODE128仕様の場合のフラグを設定します。

例) %引き : 1    円引き : 2    ズバリ : 3

### 6 セット枚数

セット枚数 : 1枚 2枚            発行時
【バーコード6】

1枚 :

CODE128仕様の値引きラベルを、1枚1セットで発行します。

2枚 :

CODE128仕様の値引きラベルを、2枚1セットで発行します。

発行時 :

ラベル発行時に、セット枚数を選択してラベル発行をおこないません。

### 7 NON-PLUフラグ

NON-PLUフラグ JAN13①
【バーコード7】

入力するバーコードのインスタマーキングのフラグを設定します。その後、売価桁数(4桁、PC/D+4桁、5桁、6桁)を設定します。JAN13は、最大4種類・JAN8は1種類の設定ができます。

## 17 各種設定(つづき)

### 17-3 印字

#### 1 印字濃度

印字濃度 5 (薄1～薄9)
【印字1】

印字濃度を設定します。  
数字キーまたは、左右のカーソルキーを  
入力して設定します。

#### 2 印刷の向き

印字の向き 正方向 逆方向
【印字2】

印刷の向きを設定します。  
標準ラベルの場合は、逆方向で設定します。

#### 3 発行後 ライン印刷

発行後ライン印刷 する しない
【印字3】

**する：**  
発行後のライン印刷をおこないます。  
このラインを目安にハサミで切ってください。

**しない：**  
発行後のライン印刷をおこないません。

#### 4 送り方向調整

送り方向調整 前へ00.00mm
【印字4】

送り方向に対しての位置調整をおこないます。  
(3.05mmの範囲)

#### 5 幅方向調整

幅方向調整 右へ00.00mm
【印字5】

幅方向に対しての位置調整をおこないます。  
(3.05mmの範囲)

#### 6 停止位置調整

停止位置調整 前へ00.00mm
【印字6】

停止位置に対する調整をおこないます。  
(3.05mmの範囲)

#### 7 テスト発行

P.7「9 バーコード入りのラベルを発行するときの注意」  
を参照してください。

# 17 各種設定(つづき)

## 17-4 システム

**1** オート  
パワーオフ  
左右のカーソルキーで、オートパワーOFFの時間(分)を設定します。(1~60分の範囲)

オートパワーOFF 1 5
【システム 1】

**2** LCD  
バックライト  
ON :  
バックライト機能を有効にします。  
OFF :  
バックライト機能を無効にします。

LCDバックライト ON OFF
【システム 2】

**3** ヘッド自己診断  
サーマルヘッドの素子破壊が起きていないか、本機が検知する設定をおこないます。サーマルヘッドの素子破壊があるとスジ状に印字抜けが発生します。左右のカーソルキーで項目を合わせます。

ヘッド自己診断 前後 後前 なし
【システム 3】

**4** キー音  
あり :  
キー音を有効にします。  
なし :  
キー音を無効にします。

キー音 あり なし
【システム 4】

**5** 発行後の戻り先  
ラベル発行後の画面の戻り先を設定します。

発行後の戻り先 ← 値引方法選択 →
【システム 5】

値引方法選択 :  
値引方法選択画面に戻ります。

値引入力 :  
値引入力画面に戻ります。

スキャン :  
バーコード入力画面に戻ります。

**6** 発行記録保存  
する :  
ラベル発行記録を保存します。保存したデータは、別売の楽らくラベルPro(別売)でパソコンに取込む事ができます。(保存期間は、直近2ヶ月間です。)

発行記録保存 する しない
【システム 6】

しない :  
発行記録を保存しません。

**7** 時計合わせ  
現在の日時を設定します。日時を変更すると発行記録データは、全て消去されます。

時計合せ 2000/12/14 13:00
【システム 7】

**8** スキャナ入力確認  
バーコードスキャナ入力後の設定をおこないません。

スキャナ入力確認 2秒後 確定 スキップ
【システム 8】

2秒後 :  
入力した数値を表示して、2秒後に次の画面に移行します。

確定 :  
入力した数値を表示して、確定キーを押すと次の画面に移行します。

スキップ :  
入力した数値を表示しないで、次の画面に移行します。

**9** CODE39  
チェックデジット  
設定

CODE39チェックデジット 計算する しない
【システム 9】

社員No入力において、CODE39を使用する場合に、設定します。

計算する :  
チェックデジットが付加されたバーコードを読む場合に設定します。

しない :  
チェックデジットが付加されていないバーコードを読む場合に設定します。

**10** パスワード設定

パスワード設定 _ _ _ _
【システム 10】

管理者以外が設定を変更できないように、パスワードを設定する事ができます。パスワードは、4桁の数値で設定できます。

**11** バージョン表示

バージョン表示 V 1.0 0
【システム 11】

プログラムのバージョンNoを表示します。

## 18 本機の仕様

項目		仕様
商品名		LP-50S/MD
表示部		128×64dot
操作部		21キー 状態表示LED×1
印字部	印字方式	ダイレクトサーマル方式
	印字密度	300dpi
	印字速度	最大60mm/sec
排紙部		連続ティアオフ
使用ラベル	ラベル幅	32, 52mm
	通紙幅	34, 54mm
	ラベル長さ	15~67mm
	ラベル種類	上質感熱紙
メモリ容量		本体内蔵2MB
インターフェイス		USB : Ver2.0 (フルスピード) RS-232C : Dsub9ピン
搭載フォント		TBゴシック体R : 24×24dot (第一・第二水準・非漢字) 26×26, 32×32, 36×36, 48×48, 70×70dot (数字, ¥) POP-A・POP-B : 54×70dot (数字, ¥, 円) PRICE : 24×36dot (数字, ¥, 円)
バーコード*		本体編集可 : JAN8/13, CODE128 本体編集不可 : QR코드, ITF
対応OS		Windows 7 / Vista / XP (64ビットOSはWindows7のみ)
PC用ソフト		"楽らくラベルPro" (別売)
バッテリー部	電池の種類	ニッケル水素
	定格電圧・電流	バッテリー : DC12V 容量 : 1950mAh
	印字可能枚数	満充電にて、40m/巻で1巻以上
	充電時間	フル充電時間 : 約1.5時間 リフレッシュ使用時 : 通常約8時間 *リフレッシュ使用時の充電時間は電池の残量によって変わります。 満充電に近い状態からでは18時間程度かかります
	リフレッシュ機能	有り (背面リフレッシュ放電スイッチ)
使用環境	温度・湿度	温度 : 5℃~35℃ 湿度 : 20%~80% (ただし結露しない事)
規格		VCC I ClassB
動作音		最大60dB
電源・消費電力		*専用ACアダプタ (3A-502DA22) 使用 入力 : 100V 102VA 出力 : DC24V 2.08A
外形寸法		W148×D219×H177
質量		約3kg (ラベルを除く)

## 19 本機で使えるラベル紙について

### 標準ラベル (上質感熱紙)

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数	値引バーコード仕様
LP-G3260MD1	幅32×ピッチ60	590枚	60巻	JAN 2段
LP-G5225MD1	幅52×ピッチ25	1,600枚	50巻	CODE128

※その他、上質感熱紙の別サイズ (ピッチ違い)、素材違いのラベルについては特注にて承ります。

## 20 お問い合わせ

- 商品の仕様・取扱い説明に関するお問合せは、お客様相談ダイヤルまで。

 **0120-510-200** または、有料ダイヤル **03-3669-6786**

※携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。

※月~金曜日 (祝祭日・当社指定休日を除く) 午前9時~午後6時  
「ナンバーディスプレイ」を使用しています。

- ホームページアドレス

<http://www.max-ltd.co.jp/op>

※最新の情報はホームページをご確認ください。

**MAX マックス株式会社**

マックス株式会社オフィスプロダクツ営業部  
〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6